

### FTSE4グッド・インデックス

FTSEは英国フィナンシャル・タイムズ紙とロンドン証券取引所の子会社で、世界的な投資インデックスの開発およびデータの提供を行なっています。

大和証券グループ本社は、2006年9月より、FTSEの提供する責任投資指数FTSE4グッド・インデックスの構成銘柄として採用されています。



### ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス(DJ SI World)は米国ダウ・ジョーンズ社とスイスのSAM(Sustainable Asset Management)が選んだサステナビリティ株式指標です。

大和証券グループ本社は、8年連続でDJ SI Worldの構成銘柄に採用されています。



#### 本報告書の対象範囲など

##### 対象読者:

主にお客様、株主・投資家、従業員をはじめ、取引先、NPO / NGO(非営利組織)、全国の大和証券本支店の属する地域社会、教育機関など、大和証券グループの幅広いステークホルダーの方々です。

##### 報告対象範囲:

原則として当社グループ主要9社\*(主要9社で全従業員の約90%をカバーします)。ただし、全項目について9社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。

##### 報告対象期間:

2006年度(2006年4月~2007年3月)。一部には、発行日直近(2007年度)の活動や2005年度以前の情報も含まれています。

##### 発行時期:

2007年9月(前回2006年9月 次回2008年9月予定)

\* グループ主要9社については「大和証券グループの事業内容」P.6をご参照ください。

# 持続可能性に向けたあゆみ

<b>2003年</b>	
1月	グループ横断的な「企業倫理ホットライン」(内部通報制度)導入
2月	グループ本社に「経営監査部」設置
3月	新しいグループ中期経営計画(2003~2005年度)を策定
4月	新しい株主優待制度を開始
6月	グループ本社の取締役・監査役報酬の総額を開示
7月	大和証券SMBCプリンシパル・インベストメントが「世界銀行カーボン・ファンド」地域開発炭素基金」に出資
10月	ジュニア・アチーブメントが提供する体験型経済教育プログラム「スチューデントカンパニー・プログラム」への支援を開始 グローバル企業に投資するSRI投資信託「UBSグローバル株式40」の販売を開始
11月	社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)に参加
<b>2004年</b>	
1月	CSR/ブランド経営ウェブサイト開設
3月	「ディスクロージャー・ポリシー」を制定
4月	早稲田大学大学院ファイナンス研究科と提携
5月	国内企業に投資するSRI投資信託「ダイワSRIファンド」の販売を開始
6月	鈴木茂晴を中心とする新経営体制スタート、委員会等設置会社へ移行
7月	グループ本社に「CSR室」を設置
10月	大和証券グループ従業員向け確定拠出型年金にSRIファンドを採用
11月	「国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)」に加盟
<b>2005年</b>	
2月	スマトラ沖地震・インド洋津波の被災地への長期支援を決定(「大和証券グループ津波復興基金」) 大和証券が「帳票類電子化プロジェクト」を開始
4月	早稲田大学インキュベーション推進室と連携し、早稲田大学でベンチャー起業家養成基礎講座を開設
5月	従業員向けCSRアンケートの実施 グループ本社で環境マネジメント連絡会発足
6月	ジュニア・アチーブメントが提供する体験型経済教育プログラム「ファイナンス・パーク」へ特別協賛 「女性起業家支援プロジェクト」を開始
7月	金融および投資家の視点からサステナビリティレポートの有用性を考えるため、GRI改訂(G3)の作業グループに大和証券投資信託委託が参加
10月	大和証券が、報告書電子交付一括申込を行うダイワの「eメンバー」サービスを開始
11月	NPOスタッフの育成のための「ダイワSRIファンド」助成プログラムを開始
<b>2006年</b>	
1月	『持続可能性報告書2005』が「財」地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告大賞(環境大臣賞)」を受賞
2月	「排出権価格参照クーポン付ユーロドル債」を開発 「ダイワ・エコ・ファンド」の販売を開始
4月	CSRのグループ基本戦略を含む新中期経営計画「"Passion for the Best"2008」を発表 『持続可能性報告書2005』が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
5月	大和証券投資信託委託がUNEP FIと国際グローバル・コンパクトによる「責任投資原則(PRI)」に署名 「キッズニア東京」の協賛スポンサーとして「ビジネス・スクール」パビリオンを出展
10月	ダイワ・エコ・ファンドの助成プログラムとして、環境NPOジャパン・フォー・サステナビリティと「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を開設
11月	『持続可能性報告書2005』が国際比較調査(グローバルレポート2006)において、34位(日本企業1位)にランキング
<b>2007年</b>	
1月	大和証券グループが「Global 100(世界で最も持続可能な企業トップ100)」に選出 世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席
2月	『持続可能性報告書2006』が「財」地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告優秀賞(理事長賞)」を受賞 『持続可能性報告書2006』が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
4月	個人投資家向けCSRセミナー「投資の新潮流-持続的成長企業を探る」を開催
5月	大和証券が、お客様向け環境セミナー「ダイワの環境フォーラム2007-いまだ地球に何が起きているのか-」を開催
7月	地球温暖化対策への取組みとしてグループ全社でクールビズを実施

## 「持続可能性報告書2007」読者アンケート

大和証券グループの「持続可能性報告書2007」をお読みいただきましてありがとうございました。

下記のウェブサイトで大和証券グループに対するアンケートを実施しています。ご意見・ご感想をお聞かせください。

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/report/index.html>

## GRIアプリケーションレベルについて

本報告書の作成にあたって参考にしていくGRI<sup>\*1</sup>の「サステナビリティ・レポートガイドライン2006」は、報告書がGRIに準拠している度合いを示すために、同ガイドラインの規定にもとづく準拠レベル(GRIアプリケーションレベル<sup>\*2</sup>)を宣言することを推奨しています。

大和証券グループ「持続可能性報告書2007」は、GRIアプリケーションレベルにもとづく「B」クラスの基準を満たしていると考えています。

<sup>\*1</sup> GRI(Global Reporting Initiative):サステナビリティレポートの国際的なガイドラインを立案し、普及させることを目的とした団体。世界各地の企業、NGO、コンサルタント、会計士団体、事業者団体などのマルチ・ステークホルダーが参加し、1997年秋から活動。

<http://www.globalreporting.org/Home>

<sup>\*2</sup> GRIアプリケーションレベルにつきましては、下記URL(英文のみ)をご参照ください。  
<http://www.globalreporting.org/GRIReports/ApplicationLevels/>

## ▶ WEB参照 GRIガイドライン内容索引

## お問い合わせ先

### 株式会社 大和証券グループ本社 CSR室

(2007年12月2日まで)

所在地 東京都千代田区大手町二丁目6番4号  
電話番号 (03)3243-5992  
eメールアドレス brand@dsgi.daiwa.co.jp  
URL <http://www.daiwa-grp.jp/index.cfm>

大和証券グループ本社は2007年12月3日に移転する予定です。  
移転後のお問い合わせ先は下記にお願いいたします。

(2007年12月3日以降)

所在地 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
電話番号 (03)5555-1111(代表)  
eメールアドレス brand@dsgi.daiwa.co.jp  
URL <http://www.daiwa-grp.jp/index.cfm>

企画制作協力 株式会社クレアン



この報告書は、有機溶剤等を使用しない「水なし印刷」で印刷し、揮発性有機化合物(VOC)成分が1%以下の「大豆油インキ」を使用しています。